

やまさとようこ



頭部に描いた沢山のぬいぐるみは私の『幼児性』を表現しています。それは私のコンプレックスの部分であり、はがしたくてもはがれず、ずっとへばりついています。コンプレックスは溶けたり歪んだりしながら『わたし』を形作りました。

きっとこのコンプレックス達は一生はがれる事がないでしょう。

私はそれを嫌悪しつつも何だか愛おしくも思います。